

# フィリピン鍼灸治療ボランティア

2019. 3. 14 - 21

## ● ミンダナオ島

3月16日 9:00-17:00

治療者数：11人

3月17日：9:00-14:00

治療者数：22人

## ● セブ島

3月18日：15:00-19:00

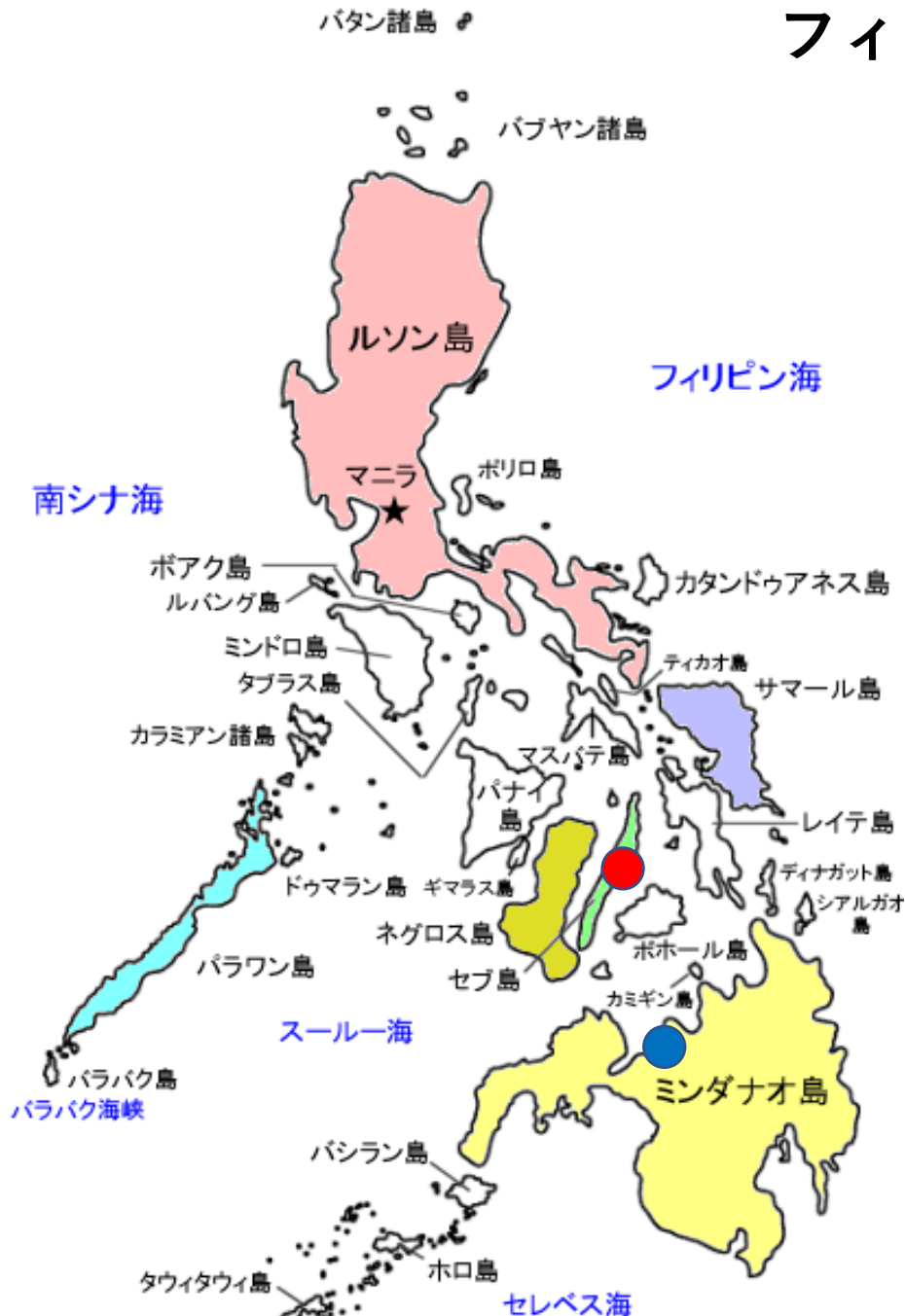
治療者数：23人

3月19日：9:00-16:00

治療者数：25人

3月21日：9:00-17:00

治療者数：35人



# フィリピン-ミンダナオ島鍼灸治療ボランティア

2019. 3. 16-17

日本で報道されることはほとんどありませんが、昨年からフィリピンのミンダナオ島の一部地域（マラウェイ）で内戦（政府軍とイスラム過激派との内戦）が起き戒厳令が発せられています。戦闘によって多数の家屋が損傷し、20万人以上のマラウィの住民の半数以上が近隣のイリガンやカガヤン・デ・オロ、コタバトへ避難しています。ミンダナオ島も、セブ島と同じように海のきれいなリゾート地として有名な観光地です（欧米の人々に人気の地です）。

今回、国際協力NGO「HOPE～ハロハロオアシス」スタッフと現地スタッフの協力のもと避難地域のひとつのイリガンへ鍼灸治療支援ボランティアへ赴きました。ミンダナオ島へは、セブ島から国内線で40～50分くらいで着きます。そこからバスを乗り継いで1時間くらいでイリガンへ着きます。内戦地からが避難（被災者・避難民）している町へ入り活動をしました。内戦地へは車で45分くらいの距離ですが入ることはできません。

イリガンの避難所

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180918-00000009-wordleaf-asia&p=2>

イリガンの町は、活気にあふれ静かに穏やかに時間が過ぎているようでした。イリガンへは、夕方到着し避難地域の住宅へ明日からの活動の告知に回りました。



- ・イリガン市街地です。
- ・マクドナルドもセブンイレブンもあります。
- ・いろいろな果物が路肩で売っています。







避難地域へ向かう途中の街並みです。



コミュニティーセンター



地域コミュニティーセンターで鍼灸治療を行わせてもらえないか町長さんへお願いと、ご挨拶へ。





当初、避難所になっていたバスケットコート。今でもコート脇に支援テントに1世帯とブルーシートの仮設の家2世帯が避難生活を続けています。そのひと家族のご主人を治療させていただきました。・不眠（PTSDによるものでしょうか）、発熱、頭痛、食欲不振、からだの痛みを訴えていました。





この地域には避難された100世帯位の人達が仮設の家を作り生活しています。



コミュニティーセンターで鍼灸治療を行うことの告知を家々に行いました。



自然にマンゴがなっています。





告知（治療）の説明をしている時、娘さん？が麻痺にはどうかと尋ねてきました。大丈夫ですよ。と言うと家の中へ案内されました。そこには、ソファーにお母さんが座っていました。娘さんが言う麻痺（左片麻痺）です。症状を伺うと、左半身が麻痺して動かない。頭痛、不眠、発熱があったりと。それと視力がなく見えないとのこと。コミュニティーセンターへは、歩いて来られないので2日間お宅へ伺い治療をさせていただきました。治療をしている時、お母さんが、目を治してほしいと。。。。ごめんなさい。それはできないのです。空しいです。この家族も、内戦地から避難してきてここで生活しているとのこと。



コミュニティーセンター  
での治療です。

椅子を並べてベッド代わりに、  
膝の治療は、椅子に座っても  
らい行いました。

時間を区切り、男性と女性の  
治療を別々に行いました。

・頭痛、不眠、片麻痺、鼻炎、  
からだの痛み、消化不良、疲  
労などがありました。



# フィリピン-セブ島鍼灸治療ボランティア

2019. 3. 16 - 17

セブ島はフィリピン中部にあり、気候は雨季（6月から12月）と乾季（1月から5月）があります。セブ島といえば、美しい海が魅力で世界から観光客が訪れます。

セブ島とマクタン島をあわせて「セブ」といいセブ国際空港があるマクタン島は、世界屈指のリゾートエリアがあり、セブ島には、フィリピン最古の歴史を持ち島内には由緒ある建造物が多数残り冒険家マゼランが寄港・布教活動をしてその生涯を終えた地でもあります。セブ島の裏の顔といわれるスラム街（セブ市内の貧困地）は、意外にも人の行き交う都市部や商業施設、海沿い、川沿い、墓地の近くにあります。



滞在の町から車とバイクを  
乗り継いで移動し途中か  
ら徒歩で小山を10分ぐら  
い登ると集落が見えてき  
ます。集落に着くと、自  
然と子供たちが集まっ  
てきます。





町の教会をお借りして治療を行いました。ベンチをつなげて、その上にマットを敷いてベッド代わりにして。皆さん集まって来てくれました。  
・頭痛、鼻炎、腹痛、下痢、小児喘息、からだの痛み、不眠などがありました。



朝食です。ソーゼージは味が濃く、牛乳も甘く。。。これでは血圧も高くなってしまいます。マンゴはフレッシュでおいしいです。



今回は、現地スタッフのお宅へ泊めてもらい、3日間一緒に生活させてもらいました。

活動後の夜に、家族の皆さんの治療をさせてもらいました。

・大人は、ストレス、高血圧、疲労、からだの痛みなど。子供の喘息と。皆さん鍼灸治療は初体験で興味津々です。







この地区1番の大きな教会の施設内に日本で言う幼稚園があり、そこを借りて治療を行いました。子供たちの小さな机をベッド代わりにして、皆さん子供の小さな椅子に座り治療を待っています。

・頭痛、鼻炎、片麻痺、からだの痛み（膝の痛みが多いです）、食欲不振、不眠などがありました。





活動した幼稚園（教会）の裏にスラム街があります。今は、乾季で水が引いていますが、雨季になると床下まで水が上がってくるので家は高床になってます。子供たちは、無邪気でたくましく遊んでます。生活している人々の熱気も物凄いものを感じます。「生きるとは何にか」を感じます。





今日もフィリピンは、人々の熱気と情熱で熱く！熱く！熱く！時が過ぎていくの  
でしょう。木陰に入ると感じる風が、こんなに心地よく涼しく感じたことは今ま  
でなかったです。フィリピンの人々の優しさと同じように風もとても優しいです。